

# JIS

## 心なし研削盤一精度試験

JIS B 6220 : 2021

(ISO 3875 : 2020)

(JMTBA/JSA)

令和 3 年 9 月 21 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	酒井 信介	横浜国立大学
(委員)	秋山 進	元株式会社デンソー (公益社団法人自動車技術会)
	安部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	市川 直樹	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	大瀧 雅寛	お茶の水女子大学
	奥野 麻衣子	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	木村 一弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	木村 たま代	主婦連合会
	佐伯 誠治	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	佐伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	椎名 武夫	千葉大学
	寺家 克昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	清家 剛	東京大学
	千葉 光一	関西学院大学
	寺澤 富雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	中川 梓	一般財団法人日本規格協会
	奈良 広一	長野計器株式会社
	西江 勇二	一般財団法人研友社
	久田 真	東北大学
	藤本 浩志	早稲田大学
	星川 安之	公益財団法人共用品推進機構
	松橋 隆治	東京大学
	棟近 雅彦	早稲田大学
	村垣 善浩	東京女子医科大学
	山内 正剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所
	山田 陽滋	名古屋大学
	和辻 健二	一般社団法人日本自動車工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 35.3.1 改正：令和 3.9.21

官 報 掲 載 日：令和 3.9.21

原 案 作 成 者：一般社団法人日本工作機械工業会

(〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 TEL 03-3434-3961)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 機械各部の名称, 座標軸及び機械の構成	2
5 一般事項	5
5.1 測定単位	5
5.2 JIS B 6190-1 及び JIS B 6190-2 の参照	5
5.3 機械の水平出し	5
5.4 試験の順序	5
5.5 実施する試験	6
5.6 測定器	6
5.7 工作精度試験	6
5.8 ソフトウェア補正	6
5.9 試験していない軸	6
5.10 最小許容値	6
6 幾何精度試験	8
7 位置決め精度試験	14
7.1 手動又は自動 (数値制御によらない) による直進軸の位置決め	14
7.2 数値制御による直進軸の位置決め	15
8 工作精度試験	19
8.1 送込み研削	19
8.2 通し研削	20
附属書 A (参考) 多言語による機械各部の名称	21
参考文献	22
解 説	23

## まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本工作機械工業会（JMTBA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS B 6220:2010** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

# 心なし研削盤—精度試験

## Machine tools—Test conditions for external cylindrical centreless grinding machines—Testing of the accuracy

### 序文

この規格は、2020年に第4版として発行されたISO 3875を基に、技術的内容及び構成を変更することなく作成した日本産業規格である。

この規格は、普通精度の汎用の心なし研削盤の精度試験方法を標準化することを目的としている。この機械の主要な機能は、円筒状の工作物を提供することである。この規格は、この主要な機能を実現するために、機械の精度の検証を行うための試験について規定している。

なお、この規格で点線の下線を施してある参考事項は、対応国際規格にはない事項である。

### 1 適用範囲

この規格は、JIS B 6190-1及びJIS B 6190-2に基づき、普通精度の汎用及び数値制御（NC）心なし研削盤の幾何精度、工作精度及び位置決め精度の試験条件、並びにそれぞれの試験に対応する許容値について規定する。

この規格は、機械の精度試験だけを取り扱い、通常、精度試験の前に行われる、機械の運転試験（振動、異常騒音、運動部品のスティックスリップなど）及び機械特性試験（軸の回転速度、送り速度など）には適用しない。

この規格は、JIS B 6310を参照して、機械各部及び座標軸の名称についても規定する。

**注記** この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 3875:2020, Machine tools—Test conditions for external cylindrical centreless grinding machines—Testing of the accuracy (IDT)

なお、対応の程度を表す記号“IDT”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“一致している”ことを示す。

### 2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、記載の年の版を適用し、その後の改正版（追補を含む。）は適用しない。

JIS B 6190-1:2016 工作機械試験方法通則—第1部：幾何精度試験

**注記** 対応国際規格における引用規格：ISO 230-1:2012, Test code for machine tools—Part 1: Geometric